

【防災メモ】

～陸域の浅い地震～

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤（プレート）で覆われており、それぞれ別々の方向に年間数cmの速度で移動しています。日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかり合うため、大きな力がかかり岩盤にひずみが蓄えられます（図1）。そのひずみが限界に達したとき岩盤が急速に動き地震が発生します。

地震は、海溝沿いでプレート境界や海のプレート内部で発生する地震（海溝型地震）のほか、陸域の浅い所でも発生します。この地震を「陸域の浅い地震」と呼びます（図2）。

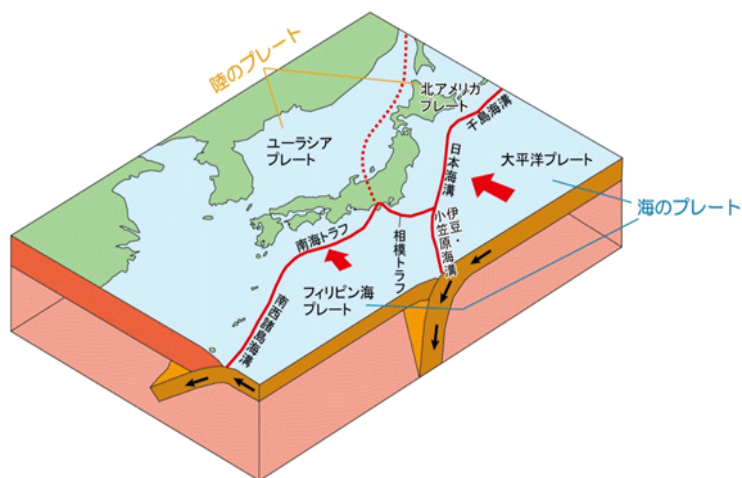


図1 日本列島周辺のプレート

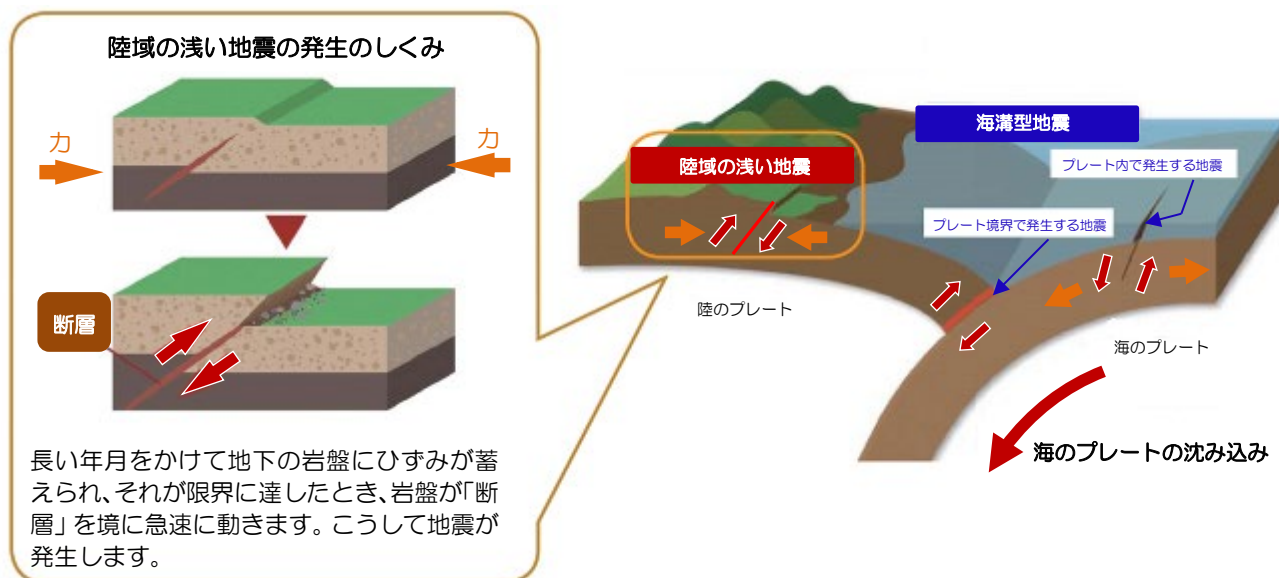


図2 日本列島周辺で発生する地震のタイプ

「陸域の浅い地震」は人の住む地域に近い場所で発生する可能性があるため、地震の規模（マグニチュード）が比較的小さくても局所的に強い揺れを伴う場合があります。また、震源に近い地域では緊急地震速報より先に強い揺れが到達してしまうこともあります。「平成30年北海道胆振東部地震」もこのタイプの地震で、この地震により甚大な被害がもたらされました。このような地震はいつどこで発生してもおかしくないため、突然の揺れを想定して日頃から家具の固定や身の安全を図る行動の確認をしておきましょう。